

国際文化都市特別委員会報告書提言への対応について

| 提言 | 内容  | 対応   |
|----|---|--|
| 1  | コンベンション等の経済波及効果について、プラス面・マイナス面を十分調査・分析し、これを市民に公表した上で、横浜がより多く潤う取組を推進すること           | 今年度、国は「MICE開催に伴う経済効果調査」を行うことから、国の調査結果を踏まえ、横浜での取組について検討します。   |
| 2  | コンベンション関連の市内専門事業者の育成、市内雇用の拡大、契約における無駄な経費の削減に取り組むこと                                | 今年度新たにコンベンション関連事業者によるMICE部会を設置し、コンベンションに関する情報の共有化や、ビジネスチャンスの拡大に努めます。また、主催者に対しては、市内事業者を積極的に活用してもらおう働きかけていきます。   |
| 3  | 観光都市として海外での認知度を高めるため、市会を含む関係機関・団体と協働で積極的広報等を推進すること                                | 既に、VJC地方連携事業等で横浜観光コンベンションビューローと連携しながら、海外のメディアとタイアップした広報・宣伝活動に取り組んでいるところですが、議員の皆様にもご協力いただきながら、一層の推進に努めます。   |
| 4  | 市民ボランティアの活躍など、市民の参画機会を増やすとともに、アフリカ開発会議での市民交流をモデル化し、市民の国際社会へのかかわりを増やすこと            | APEC横浜開催に向けては、市民の皆様にも、海外の文化や国際社会にさらに関心を高めていただく契機となるよう、準備を進めます。具体的には、APEC開催記念イベントでの参加国・地域の紹介やボランティア活動を通じた会議関係者のおもてなし、市内の小学校6年生と中学校生徒徒にリーフレットを配布するほか、小学生と各国・地域の関係者との交流も検討していきます。 |
| 5  | 世界に開かれた横浜をアピールするため、海外で活躍中の横浜出身者や横浜にかかわりのある方々が、横浜で数年に一度一堂に会するコンベンションを開催すること        | どうしたら多くの方に集まっていたりかなど、開催について検討します。  |
| 6  | 観光客に対して、はまっこに認定する等の事業を通して、横浜ファンを拡大・育成すること   | 宿泊観光客の増加に向け、2泊3日以上滞在して楽しめる観光施策を検討し、3日以上滞在していただいた方をはまっこに認定するなどの施策を通じて、横浜ファンの拡大に努めます。  |
| 7  | 国際文化都市をさらに理解してもらうために、研修や勉強等で長期滞在する外国人の方々との交流・連携策を推進すること                           | 横浜に長期滞在する方や、横浜に縁の深い方々との交流・連携について市内の各大学や国際機関、企業の皆様に協力を働きかけていきます。  |
| 8  | 次世代を担う青少年の国際性を養うため、高校生・大学生世代を中心とした海外諸都市との相互ホームステイ事業を推進すること                        | 次世代を担う人たちのホームステイは、貴重なご提言と考えます。相手都市の意向などを踏まえて、検討します。  |
| 9  | 国際交流や連携の効果を高めるため、意欲のある区、地域、商店街、学校など様々な機関・団体が容易に交流を行えるような仕組みをつくること                 | すでに区や、商店街などが国際交流を主体的に進めている例がありますが、市民の皆様がいろいろな形で国際交流に円滑にかかわることができるよう、様々な機関・団体とも連携を深め、支援に努めます。   |
| 10 | アジア各国からの観光客を誘致するため、速やかに、オールヨコハマの体制を構築し全力で誘致に取り組むこと                                | 今年度、新たに観光関連事業者による観光資源開発部会とアジアインバウンド部会を設置し、アジア各国からの観光客誘致に取り組むオールヨコハマの体制を構築します。  |
| 11 | アフリカ開発会議を契機としたアフリカ大陸との経済・文化交流をさらに進めていくための政策を推進すること                                | 国際協力の取組みのほか、アフリカン・フェスタを外務省と共催で開催することにより、文化、音楽、食などを体験し理解を図る事業を行ってきました。次回アフリカ開発会議の誘致も見据えて、継続して展開していきます。  |
| 12 | 国際・平和、観光・コンベンション、文化・芸術に関する施策が一体的かつ明確な政策理念のもとに最大限の効果を発揮するよう、組織横断的プロジェクトを設置し、検討すること | 国際施策として取り組むべき分野は多岐に渡り、かつ相互に密接に関係しております。都市間交流や国際協力、平和の推進、観光・コンベンション、文化芸術による創造性あふれるまちづくり等の施策をより効果的に展開できるよう、横断的取組に努めます。   |